

令和4年度 学校評価 自己評価書（2学期）

1 学校の重点目標

1 学力向上	2 人間力の向上	3 体力・気力の向上
4 地域・郷土に開かれた学校	5 GIGA スクール構想の実現	

2 課題と改善策

(1) 教育目標について

具体目標（校訓）	評価の観点	職員
ア 考える人（英知）	めざす生徒像	2.9
イ 心豊かな人（情操）	めざす学校像	3.0
ウ たくましい人（健康）	めざす教師像	3.0

(2) 実践5項目について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 基本的な生活態度の定着	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を有効に活用するなど、コロナ禍における授業実践充実させる。 元気な挨拶は本校の誇りである。この継続とともに、生徒会活動の実態を考察し、より自治的能力の育成を推進する。
イ 学力の向上	2.9	
ウ 勤労、協調の精神の高揚	2.8	
エ 礼儀と正しい言葉づかい	3.2	
オ 環境の整備、美化	2.7	

(3) 学年・学級経営について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
学年経営	ア 学級目標の具体化・実践化	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 企画委員会等で情報共有を図る。 学校行事や保護者会、メール等を活用し、学校への保護者の理解と協力について促していく。
	イ 学年の連携・一貫性	3.0	
	ウ 他学年との連携	3.0	
	エ 保護者との相互理解、連携	3.0	
学級経営	ア 学級目標の適正化	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動や不登校の生徒への手立て（報告書作成や関係機関との連携等）について担任と副担任の役割分担を再確認する。
	イ 学級目標の具体化・実践化	3.0	
	ウ 学習意欲向上の配慮	3.0	
	エ 学級内相互の信頼関係	3.0	

(4) 努力点について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 学習指導の充実	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業の構築を図るとともに、不登校生等へのリモート授業の実践を推進する。 生徒指導及び不登校に係る委員会の充実と共通実践の遂行を図る。 特別支援学級の実態（教育課程や生徒の様子）を把握し、共通理解の場を設定する。 マイリフレッシュディの確実な実践及びsee-smileの効果的な活用が定着し、超過勤務時間が減少している。
イ 道徳教育の充実	3.0	
ウ 生徒指導の充実	3.0	
エ 保健・安全指導の充実	3.0	
オ 進路指導の充実	3.3	
カ 人権同和教育の充実	3.1	
キ 特別支援教育の充実	2.8	
ク 教育環境の整備と美化	2.9	
ケ 情報教育・国際理解教育の推進	2.8	
コ 地域に根ざした学校、開かれた学校づくりの推進	3.0	
サ 業務改善の推進	2.7	

3 次学期に向けての取組

(1) 教科指導について

ア 学習定着度調査の分析とそれを生かした授業改善に努め、学力向上についてこれまで以上に課題意識をもって各教科で実践する。

イ すべての授業者がICT機器の有効活用を図るとともに、リモート授業を本格的に実施する。また、生徒の学習への自発的な取組みを促す本校独自の授業スタイルを構築する。

(2) 生徒指導について

不登校生向けにタブレットを配布したことから、リモート授業やアプリ等の活用を促し、学びの機会を保障する。また、特にSNS等の使用法について各学年での学習の機会を確保することで、いじめや問題行動等を未然に防ぐ手立てを講じる。